

平成25年度事業計画書

はじめに

【今後の10年に向けて】

「一人ひとりがかけがえのない社会の一員として、支え合いながら役割を果たす」ことを民主主義の原点と捉え、フィランソロピーをその核になる基本的概念として、企業への働きかけを中心にその推進をしてまいりました。

本年11月には、新制度の下での公益法人への移行も終了する予定であり、NPO法人も、現在で4万7千団体を超え、民間による公益活動の担い手も、本格的に責任を果たすための次のステージに向けて進む時期に来ました。個人においても、公益・共益・私益のバランスが求められる昨今、若者を中心に、「社会の役に立つ生き方」への志向が人生における重要な価値観として形成されつつあります。一昨年の東日本大震災以来の支援活動における動きはその顕れであり、それだけに、今後10年はかかると言われる復興支援を日本再生につなげるため、各セクターのコーディネーターとして、従来の枠組みを超える連携を推進していきます。今後は、企業の、従業員をはじめとしたステークホルダーの社会責任遂行への基盤づくりと啓発を進め、企業の社会責任遂行をより深化させてまいります。家庭教育・学校教育における社会化とコミュニティの再生が不可欠との観点から、学校を核としてコミュニティとの連携を深めながら、子供たちの自己有用感の醸成と社会化向上に尽力してまいります。10年・20年の歳月を要する次世代育成のために、学校・行政・企業・NPOなどとの連携を図り、息長くかつ着実な事業を継続していきます。

企業市民としてあるべき企業支援、そのパートナーとしてのNPOの基盤整備、個人フィランソロピーの担い手としての青少年育成を有機的に融合させながら、真の民主主義社会形成のために、さらなる努力を重ねてまいります。

【基本方針】

企業のCSR推進

個人の寄付文化醸成

NPOの組織基盤強化

を事業の3本柱に据え、複数の企業やNPO同士の連携、各セクター間の連携を推進するため、コーディネーターとしての役割を果たしながら、以下の事業を展開します。

★企業フィランソロピーを核に、企業のCSR推進に寄与する事業を展開する。

企業のCSR・社会貢献担当者の研修やコンサルテーションを通し、各社におけるより実効性のある社会貢献活動の実践につなぐ。また、社会課題解決に向けて、複数社や行政・NPOとの連携による、より社会課題解決のためのインパクトのある企

画提案とその実行のための運営を担う。

★個人フィランソロピーにおける寄付活動の活性化を図る。

- ・従業員はじめステークホルダーの寄付・募金促進に向けた事業
- ・青少年の寄付・募金活動を推進するための事業

★東日本大震災復興支援を日本再生につなげるため、企業・個人の支援活動の推進に寄与する。

★寄付の受け皿となる NPO などの組織基盤整備と、そのための人材育成事業

【平成 25 年度の事業計画】

I. 社会貢献啓発事業（公益目的事業 1）

市民、団体、企業のフィランソロピー（社会貢献）活動を啓発、啓蒙するとともにボランティア活動、公益活動への関心を深め、活動への手がかりを提供し、より良い社会の醸成に寄与する事業

1. 広報・出版事業

- ・機関誌『フィランソロピー』の発行（年 6 回発行）
- ・内容の一部を日経データに掲載
- ・年 2 回程度の企業フィランソロピーデータ集の発行

2. インターネットを利用した情報提供事業

- ・メールマガジン（毎月 1 日・15 日配信 配信件数約 9,000 件）
- ・ホームページ（随時更新）

当協会の活動をはじめ、社会貢献・CSR 情報の提供、NPO・NGO 団体の活動情報を配信する。

今後はメルマガの内容、配信体制をより強化し、読者のニーズに応じていく。また、ホームページの内容の充実を図り、『フィランソロピー』と連動した記事を積極的に掲載するなど、当協会の事業を有機的に連動させ、より有効な情報の発信基地とする。

II. 社会貢献促進事業（公益目的事業 2）

主に企業、団体の社会貢献担当者、NPO・NGO 職員を対象とし、社会貢献・社会的責任に対する考え方、組織運営等に対する能力開発、更には具体的な活動を通し、企業等における社会貢献の推進を支援する事業

1. 研修事業

(1) 月例セミナー

- ・毎月1回開催（原則として年間11回開催）
- ・企業・団体などのCSR担当者等を対象として、社会貢献・企業の社会的責任等に関するテーマで講演、グループディスカッション、見学会を定例セミナーとして開催し、参加者のスキルアップを目指す。

(2) セミナー in 関西

- ・隔月開催（原則として年間6回開催）
- ・関西企業を対象に、東京での「月例セミナー」同様の目的で開催する。

(3) 会員企業向けセミナー（Stone Soup Club）

- ・隔月1回開催（原則として隔月開催）
- ・会員企業CSR担当者同士が各企業の事例紹介を通じ、複数企業間での協働企画事業を開発することをめざす。
- ・会員企業CSR担当者間のネットワークづくりに寄与する。

(4) 第6回アメリカン・エクスプレス・アカデミー（協賛：アメックス財団） NPOリーダーのためのリーダーシップ育成プログラム（第6回）

- ・NPO・NGOの若手リーダーを対象とし、リーダーシップ能力やビジネススキルを向上させるためのプログラムを提供する。
- ・研修を通じてNPO・行政機関などの職員間のネットワークを構築し、全国の志高い人材の創発につなげ、NPOセクター自身の育成をめざす。

(5) 第3回匠塾（協賛：NEC）

長年のキャリアを社会のために生かすシニア向けの連続講座

- ・NPOやボランティア団体での活躍や、地域課題解決のために社会起業を目指すプログラムで、半年間を掛けて基礎講座（全6回）・ボランティア体験（現場実習）・ワークショップをこなす。

2. 顕彰事業

(1) まちかどのフィランソロピスト賞（第16回）

- ・個人またはグループの社会貢献（寄付）を顕彰し、ロールモデルを紹介することで、日本に個人の寄付文化の醸成をめざす。

(2) 企業フィランソロピー大賞（第11回）

- ・社会問題に真摯に向き合い、自社の経営資源を活かして、経営理念に沿った社会貢献活動や価値創造をする企業を顕彰することで、企業CSR経営の普及・啓発につなげる。

3. フィランソロピーバンク事業（個人の寄付文化醸成事業）

団体・企業の従業員、顧客などの寄付と団体・企業の協働寄付システム

- ・寄付先 NPO 選定に関する調査、寄付金配賦業務、寄付後の NPO 活動のフォローアップなどを行う。
- ・個人の寄付文化の醸成を図るために、企業フィランソロピーの一つの形として、従業員はじめステークホルダーの寄付啓発と寄付機会を提供する。

（1）一般のフィランソロピーバンク事業

- ① 日本郵船株式会社
- ② 明治安田生命保険相互会社
- ③ 株式会社ファンケル
- ④ アメリカン・エクスプレス・インターナショナル,Inc.
- ⑤ 株式会社 NTT データ
- ⑥ フィデリティ財団

（2）被災地支援事業

- ① 王子製紙・王子ネピア
- ② JCB

4. 企業別CSR推進事業

個別企業に対し、その社会貢献活動に関するコンサルテーションを実施し、その企業に最適な具体的プランの企画提案を行う。さらに、実行段階において協会が運営の事務局を代行する場合は、最善のパートナーシップを発揮する。

（1）社員ボランティア支援事業

企業の社会貢献活動として、社員ボランティアを派遣するプログラムを企画提案する。さらに、派遣プログラムの事務局を代行し、企業担当部門の管理・運営支援を行う。

- | | |
|------------|------------|
| ①JCB | ②アクセンチュア |
| ③三井住友銀行 | ④明治住友生命 |
| ⑤第一生命 | ⑥積水化学工業 |
| ⑦日本メドトロニクス | ⑧フィリップ・モリス |

（2）被災地支援事業

①キリン株式会社（キリン絆プロジェクト）

- ・農業復興支援第Ⅱステージ

「地域ブランド育成・6次産業化」推進のための農業従事者への助成事業

対象：岩手・宮城・福島3県の農業従事法人約10件への助成

助成金額： 一件あたり約500万円～5000万円

- ・「東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト」(別添資料参照①)

将来にわたる農業の担い手・リーダー育成事業

- ・「農業経営者リーダーズネットワーク in 東北」(東北大学)
- ・「復興プロデューサーカリキュラム in 東京」(丸の内朝大学)

②臨時災害FM放送局事業 (協賛：㈱電通他)

- ・震災後に被災地に相次いで設置された臨時災害 FM 放送局を、当協会が協賛企業から募集した「復興 FM サポート資金」により、「復興 FM 局」を支援企業の協力を得ながら、コミュニティ FM 局としての自立に向けた支援を行う。

③チャリテーリレー・マラソン2013 (協賛：新日本有限責任監査法人 他)

- ・2011年12月に神戸で開催したプロジェクトの第2弾。

開催地：東京

実施時期：2013年7月14日【日】

参加者：岩手・宮城・福島県の5～6校の中高生

東京の約7校の中高生

当協会会員企業の社員ボランティア

(3) 助成事業

①田辺三菱製薬株式会社(手のひらパートナープロジェクト)

対象：130種の難病指定患者を団体および支援NPO

②日本たばこ産業株式会社(NPO助成事業・第1次書類審査)

対象：地域コミュニティ再生と活性化に取り組む事業

5. ドネーションカード事業(別紙資料参照②)

個人の寄付文化醸成の一環で、企業の重要なステークホルダーである株主の寄付参加へのきっかけづくり事業

概要：株主優待品としてドネーションカードをギフト券として贈る

株主は、ドネーションカードのサイトから、当協会の選定したNPOから、応援したいNPOを選び、寄付行動を行う。

25年度は、サイト作り・参加企業発掘を行う。

6. 募金・寄付を核にしたサービス・ラーニング普及事業

- ① 昨年度に実施した学校(6校)に加え、新たに5校の参加を目標とする
- ② 実施に際し、小学生高学年・中学生向け「募金・寄付に関する副読本」を作成する。

Ⅲ. 共生社会創造事業（公益目的事業3）

より豊かで温かい社会を形成するために、誰も排除されことなく、社会の一員として全ての人が社会参加できる機会を提供し、精神的、経済的に自立した生活の実現を支援する事業。

1. IT活用事業

- ・声の花束（IT活用による音訳サービス）

視覚障がい者や高齢者など活字情報弱者のために単行本などの音声情報をインターネットで配信する。

2. アートエイド名刺事業

- ・フィランソロピー普及と障がい者の経済的自立のための名刺制作事業

印刷作業など実務は 新宿区勤労者・仕事支援センターに委託し、障がい者の就労機会づくりに貢献。

Ⅳ. 会員増強

会員の推移は以下の通り。経済環境は厳しい状況にあるものの、「新しい公共」が謳われる中、企業として社会全体の健全な発展に寄与することの必要性、重要性の認識は高まりつつある。当協会が目指す理念を積極的にアピールし、企業フィランソロピーへのきめ細かな支援を通し、会員数の増加に努める。

目標：10%増

法人会員数の推移

（法人）

	平20年度末	平21年度末	平22年度末	平23年度末	平24年度末	平25年度目標
正会員	47	49	43	39	37	40
賛助会員(法人)	56	54	61	69	74	83
計	103	103	104	108	111	123